

令和7年度第1回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 令和7年6月3日（水）10時00分～12時00分
- ・出席者 運営委員…………… 11名出席（欠席委員：4名）
 ウィズセンター…………… 所長、次長、職員（計4名）

議事	概要
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>令和7年度事業の実施状況について [質疑等]</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>ウィズセンター説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーを何回か受けると、修了証を発行する取り組みに注目しました。 ・人に興味を持ってもらうためには、何かメリットがある、意義がある、何か欲しいものがそこに付随してくるというのがきっかけになりやすいと思うので、修了証がもらえるというのは、権威や立場のある団体ができることとして有効だと思います。 ・修了証を持っていることが、何かに役立つとか、何かに使えるというような、そういう道筋があればよりよいと思うのですが、そういうことは何か考えているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール事業の修了証について、割引や優遇措置があるわけではありませんが、修了者名簿を市町村へ提供しており、審議会の委員や講師として登用していただきたいというお願いをしております。 ・今後は、センター事業の中でお声掛けをさせていただいて、ともにできるようなことを一緒に考え、チャレンジしていただくという形を思い描いております。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダーとなった方たちが、具体的にどのような活動をされているのか、市町村で登用されたのかという報告をいただけますか。 ・場合によっては、県が市町村につないで、具体的な活動の機会を提供するところまでいくとより進展するし、活躍事例を紹介することで受講生を募集する際のPRに繋がるので、ご検討いただけるといいかなと思いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の拡大という課題について、人数や属性について目標数値はあるのでしょうか

議事	概要
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・目標人数は募集の時に設定するようにしています。例えば、ウィズカレッジなら1講座当たりおおむね100人、女性のキャリア形成応援事業なら目安はこれぐらいということで、一応の目安をつけて募集するようにはしております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・手当たり次第やっても経費と時間の無駄なので、それぞれの講座でターゲットや年齢、性別、居住地などを講座やイベントごとに精査してやっていく。そして効果検証して、次年度に向けてPDCAを回していくのが大事だと思います。企業だと当たり前の活動ですが、資料からは読み取れないので、どう改善するかは提案も難しいと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の拡大については、年代やどういった動機で参加したのかなど、アンケートで詳細を取りまとめるという作業が必要かと思います。 ・例えば今年度の事業に関して、アンケートの項目設定や集計もよく考えて、次の事業に反映していくことが大切だと思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、おやっと思ったことは、情報コーナーの自習利用者が1,000人増えたという点です。単なるスペース貸しにならないように努力をされて、令和5年度から令和6年度で1,000人増えている。これは、非常に画期的だと思っています。 ・昨年の運営委員会で、若者に届くSNS等の情報ツールを活用してはどうかという提案があったと思いますが、自習利用者が1,000人増えた理由として、情報ツールが役に立ったのか関連性を教えていただき、引き続き男女差や割合をみるのはとても良いことだと思います。予算も含めて、そういう裏話みたいなのがありましたら、教えてください。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・1,000人増えたのは情報コーナー全体の利用者で、おそらく自習だけではないと思います。 ・しかし、確かに自習利用がかなり増えていますし、今年4月の（自習利用者の人数をカウントし始めた）時点で来所者の3分の1程度が自習ということですので、少なくとも何百人かは影響があったと思っています。 ・自習利用について、当センターでは主にXで紹介しています。その他、岡山県内の自習コーナーを取りまとめたサイトに掲載されたことも、利用者増につながったようです。夏が暑かったのでクールシェアでの利用もあったのではないかと考えられますが、アンケートを取ったわけではないので、そこは想像の域を超えません。

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS の効果も少なからずあったのではないかと、というところでしょうか。安心して過ごせる場所が見つかったという点では、すごくよかったと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏が暑いという点で、生活困難を抱える子どもたちの居場所にもつながればいいなと思いました。居場所が増えることはよい事だと思いますし、自習コーナーというのは結構いろいろ柔軟に活用できると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆうあいセンターにも自習コーナーがあって、自習利用者がゆうあいセンターの活動に興味を持ち、企画に関わる等の流れを作るため、いま準備しているところです。ウィズセンターでも同様に、自習利用者がセンターの企画に関わったり、利用者の声が運営に反映されるような仕掛けを考えるのはいかがでしょうか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自習利用者には、様子を見ながらお声掛けしています。 ・ また、女性の活躍割合などの「ウィズ豆知識」を見える形で掲示したり、イベントの案内を手を伸ばせば届くところに配置しています。 ・ 自習以外にも、若い方でよく利用されている大学生などがおられるので、折を見てハードルの低いことからお声掛けできたらと考えております。 ・ ゆうあいセンターはボランティア活動がとても盛んなので、またノウハウなどを教えていただけたらありがたいです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さん、個別具体的ないろんなお話をされているところで、ちょっと視点を変えて質問したいのですが、〇〇委員のお話によると、所属する団体の女性経営者の割合について、全国平均は 10%未満だけれど、岡山県では 15%なのですか。 ・ それは、岡山県（全体）の中小企業の女性経営者割合とイコールではないにしても、なかなか興味深い数字だなと思ひまして。 ・ というのは、私が 4 年前に所属団体の会長をした時に、なぜジェンダーギャップの解消を公約に掲げたかと申し上げますと、日本には全国で 52 の支部があります。北海道に 4 つあって、東京に 3 つあって、あとは都道府県にひとつずつなのですけれども、その 52 の支部の中で、岡山県支部が全国で 3 番目に女性比率が高く 22%ぐらいだったのです。ところが、支部長や副支部長という代表者の集まりに占める女性の比率はグッと低いのです。だから、やっぱり制度を変えなきゃいけないということで、私は支部長に就任した間にクオータ制を導入しました。代表者 25 名のうち 3 割を女性にするというような制度改革をしたのです。 ・ そこで質問ですが、岡山県の男女共同参画の現状というか、色々な比率が全国と有意な差があるのか、それともあまり差はなくて、平均的な数値なのか。まずこの男女共同参画の改革を考えるにあたって、現状認識が重要

議事	概要
ウィズセンター	<p>だと思っのです。岡山というのは女性が活躍してて、ただ、その上でのいろいろな問題点はあるとは思うのですけれども、そういったことも調べてはどうかという気はします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、改革に当たって、男性の意識を変える必要があるという事がよく言われますが、おそらく男性の意識改革はなかなかいつまでたっても変わらない。だから、制度を変えない限り、男女共同参画社会というのは実現できないのではないかと考えています。 ・その意味で、このウィズセンターがどういう役割を果たせるのか。例えば、県の今回の第5次おかもやまウィズプランを見ると、4ページ目に、「各分野・社会全体における男女の地位の平等意識」というデータが出ており、それを見ると政治の場や社会通念、慣習、社会全体で見た場合というのは、相当男性に有利になっているのではないかと現状認識があります。 ・例えば岡山県で制度改革を行うにあたって、センターからどういう情報を発信をして、どのような改革を行うことができるのか、できないのか。そもそもそのようなことはセンターの役割ではないのか。そういうところも今日知りたいなと思った次第です。 ・例えば、県の職員の中にクオータ制を導入するとか、県議会の中にクオータ制を導入するというようなことを、センターとして役割発信できるのでしょうか。そんなことはこの範疇を離れた話で、政治家の方にお任せをするという話なのか。その辺はどうなのでしょう。 <p>・全国的にどのくらいの地位にあるのかは、日頃から気に掛けて、地位向上を考えるのは重要なことだと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、制度改革の点について、センターの力だけでは難しく、県民の皆さまの意識改革がセンターの役割と考えています。制度ができるとほぼ強制というか、強制せざるを得ないということになります。個人の行動様式というのはやはり決めきれないことも多いのではないかと思います。 ・職業生活においては、国の労働局や県の労働部局が制度を作っていますので、それを支える情報提供や、実際に現場でどうなのかという状況をお知らせする等の関わり方が、センターとしてはできることかなと思っています。 ・意識はなかなか変わらないけれども、言わなければもっと変わらないと思います。男女共同参画社会という概念ができて何十年にもなりますけれども、それを途切れることなく言い続けてきた土台の上に、現在の様々な流れができていてと思うので、県内各市町村の隅々までそのような意識を持っていただき、制度をしっかり知っていただいて、活用していただくといった役割が、センターにはあると考えております。ですので、華々しい制度設計は難しいと思っておりますが、側面支援ということではしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 例えば、選択的夫婦別姓について、国会でも色々な案が出ています。センターとして推進するということはなかなか難しいかもしれませんが、センターでは普及啓発としてカレッジという制度を設けているので、その中で選択的夫婦別姓の問題を議論するような講座を設けることはできないのでしょうか。 • 最終的に法律を変えるのは国会の役割だし、それは政治の役割だと思うのですが、例えば、全体の意識改革のために、普及啓発の中に問題を位置づけるというようなことはできないのでしょうか。それともそれはすごく政治的なテーマだから、なかなかウィズセンターとしては取り上げづらいという感じでしょうか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> • 女性が社会に出て行くときの壁のようなものは、夫婦別姓の話に限らず、性の問題、社会制度、私たちの意識の中にも様々あると思います。そういう困難な状況について、何か意見交換するような場を設けることは考えられますが、基本的には国の方向性を見ていきたい気はします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 当然、センターとしてそれを推進する立場に立ちづらいと思いますが、問題提起として、賛成の人、反対の人がそれぞれこういう対立意見をもっていうかたちで、ディスカッションの場を提供するとか、いろんな工夫はできると思います。もしそういう場を設けていただければ、全面的に協力します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 今、協力が得られました。これは結構大きなことですね。言われている（ディスカッションの場を設ける）ことは本当にごもっともなところだなどお聞きしていました。 • 最初にも意見が出ましたが、岡山県のジェンダーギャップ指数を出したほうがいいと私は思います。それを踏まえて、先ほどの制度の改革、県の中から提案するのは正直なかなか難しいことかもしれませんが、そのテーマごとにいろいろ議論する。あるいは、男女共同参画センターも、皆さんにお伝えするとか、上からだけではなくて一緒に立場に立って、パートナー的に一緒に声をあげていくというところまではできると思います。 • 情報誌にも「ボトムアップ式」という話題があります。これはとてもよい提案で、議論の場に参加した方たちが、どういう思いを持たれているのか、声の代弁はできるのではないかと思います。どういう思いを持って参加しているのかとか、そのような声をしっかりと集められたらどうでしょうか。参加者の市民性を鍛えていくことが、権利の獲得といったところにはとても大切だと思うので、今すごく貴重なご意見をいただいたと思います。県民の皆さんとパートナーシップをしっかりと組めるように、参加者の声を拾っていくというところから、まずは始められてもよいのではないかと思います。

議事	概要
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・委員になるにあたって何度かウィズセンターの情報コーナーを利用し、自習の学生さんがすごく多いなと思っていましたが、自習以外の利用者もいるようなので、若い子たち向けのもの、いわゆる中高生や大学生に向けたイベントや企画、講座があってもよいと思いました。 ・おっしゃるとおりで、よい案を出していただきありがとうございます。実は、学校や学生向けの啓発について、きっかけに困っているところがあります。学校にチラシを持って行ってお願いしても、最近はお忙しいようなので、配布は難しいのではないのでしょうか。教育現場としては、いかがなのでしょう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの学校は可能だと思います。すぐ近くの高校などはどうでしょうか。教育委員会に持って行けば配ってもらえると思うのですが、どうでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会は意外に難しいですね。学校に直接行くと配ってもらえることもあるのですが、教育委員会に行くと結構はじかれたりすることがあるみたいなので。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうあいセンターには、大学生がかなり集っているので、同じ建物の中にある団体同士、ノウハウを聞かれてもよいのではないかと、お互いに協力し合うことが大事かと思っています。 ・企業の社長や経営者は男性が多いけど、NPOは女性が代表や理事長を務める団体が多いですね。それは、時間的なこと、ボランティアという点でそうなるのかなと思います。 ・(前回) 私が社協との連携を提案したら、ちゃんと社協が動いてくださったので、ウィズセンターが私の意見を取り上げてくださったのだと、すごくうれしく思っています。 ・私は、県がNPO団体をしっかり助成することで、女性活躍社会が生まれてくると思っています。人、物、金なので。お金か、NPOを支援しますよというところが出てくると、その中から起業しようかという人も出て来られるのでは。 ・実際にある団体をどうやって育てるか。「女性団体の支援」ということが資料の最後に書いてあって、どういう団体をどういうかたちで支援されるのか質問したいと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日も防災マイスターやその他のイベントチラシなどをいただいて、配架したり、ほかの情報と合わせて紙面を送付したりする形で、情報発信は連携させていただいているかと思っています。

議事	概要
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に向けての情報発信について、ゆうあいセンターは県内の大学ボランティアセンターの教員の方や事務員の方との連絡会というのがあります。そういったところでのアナウンスですとか、連携ということはできるかなと思っております。よろしくお願ひいたします。 ・(女性団体への交流・支援について) ウィズセンターの登録団体に向けて、勉強会と交流会を行うというかたちで、11月の推進月間で働きかけをしています。 ・今年度は、登録団体向けのメールマガジンで、ウィズセンター事業の紹介や、登録団体が載せてほしいイベントなどを募集し共有する形で、まずは緩やかにつながって、できることをしていこうと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは今までもやってこられたことではないですか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は、実はあまりできていなかったところなのです。登録団体が発信してほしい情報の吸い上げ(情報提供のお願い)も足りていなかったもので、本年度はその働きかけを強めていきたいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・創業や起業という点も、経済的な面だけではないと思いますので、女性の活躍に繋がるのであれば、その非営利団体まで含めてサポートしていく体制というのが、より参画につながってくるのかなというところも含めて考えていただけるといいかと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど小学校などでチラシを配る話が出ましたが、学校現場も働き方改革という言葉が本当に走っておりまして、チラシ配布も精選されてきている部分が正直ありますが、説明をしたら多分配布してくださるのではないかと。例えば、総社市では「すぐーる」というツールで情報配信していて、学校からの連絡や文書、市からの情報がそのツールで届きます。そういったツールでチラシが配信されたりもするのかなと思いました。 ・意見というか感想になるかもしれませんが、学校現場にいると男女の差というのをあまり感じません。しかし、社会に出ると、色々な職業の方や様々な年代の方がいらっしゃって、やはり男女共同というのは考えていけないといけないという事を、あらためて感じているところです。 ・先ほども、自習に来た中高生を対象にというお話があったと思います。(会議室に貼られた) こども防災マイスターのポスターが目に入りますが、小学生の子どもたちに何を教えるかという、また考えないといけないのですけれど。 ・意識改革は難しいという話について、大人たちの意識改革は難しいけれど、これから社会に出ていく子どもたちはまだ柔軟です。ジェンダーの意

議事	概要
<p data-bbox="197 1240 392 1272">ウィズセンター</p> <p data-bbox="264 1816 323 1848">委員</p>	<p data-bbox="488 237 1414 365">識が（世代によって）違うかもしれないというご意見があったのですが、特にこれから社会に出ていく子どもたちへ、色々な考えを受け入れたり、認め合ったり、支え合ったりということを伝えていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 383 1430 555">・男女で分けるのではなく、男女だけではなくそれ以外の性の人もいるわけなので。その辺を知る機会は教科の中に関係があれば触れられますが、やっぱりまだ学校の中で教えていなくて、でも伝えていくことは大事だと感じています。 <li data-bbox="472 573 1430 846">・例えば防災マイスターのように、子どもたちに向けて性のことを考えるきっかけや、男女共同参画というものがあることを伝えるだけでも、「ああ、そうなんだ」となるので、伝えることもいいし、「みんなはどう思う？」「どんな社会になってほしい？」と、子どもたちと一緒に考えることも大切だと思います。そして、学校現場でできることをしていかないといけないと思っています。 <li data-bbox="472 864 1430 992">・教職員にはいろいろな研修があつて、授業に関することとか子どもたちの指導に関わる基本研修の中に、男女共同参画のことも入ってほしいと私は個人的に思っています。 <li data-bbox="472 1010 1430 1182">・大学や高校の授業でも、1年に1回でもよいので男女共同参画に触れる機会があれば、子どもたちが社会に出たとき（役立つし）、先生方もそういうことに触れて、「今、社会が変わっている」という形で意識が変わっていくのかなと思いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 1245 1430 1323">・やはり、子どものときから（男女共同参画について考える）ことは、すごく大切なことだと思っています。 <li data-bbox="472 1341 1430 1563">・研修の場というお話がありましたが、先ほどからご紹介している出前講座は学校にも参りますし、もちろん企業にも参ります。先日は、市職員の初任者研修にも行かせていただきました。今年度は高校からも呼びがかかっておりますので、該当のところはご遠慮なく、できる限りのことはさせていただきますので、お声掛けいただければと思います。 <li data-bbox="472 1581 1430 1753">・子どもたちに向けてという点で、学校現場でも色々取り組まれていると思います。伝え方に関してはウィズセンターも素人の部分もございますので、具体的にどうしたらよいかなどの相談に、ぜひ乗っていただければありがたいと思っております。よろしく願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 1816 1430 1944">・学校現場で権利教育を今後やっていただけるのが、一番近道だと思います。道徳ももちろんですが、権利教育の推進を進めることもよいと考えます。 <li data-bbox="472 1962 1430 2134">・子どもの権利条約のページに入ると、子どもでも取り組めるワークなどがあるので、最初はそこから始めてもよいと思います。当たり前のことですが「お互いの意見を聞こう」などと書かれています。ユニセフのページに日本語訳されたものも出ています。

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は高校でPTA役員をしていますが、義務教育課程を離れて、私立高校の学校運営は各学校に委ねられているところがあり、結構苦戦していると思います。 ・最近で言うと、(私は) 防災士なので「備えはどれくらいしていますか」と尋ねたら、「すみません。備蓄はありません」と言われて、危機的だなと思いました。これは中学校までだったら考えられない。 ・私立高校は、専門性の特徴的な学科が増えていて、人権や出前講座については子どもだけでなく教職員の研修にだいぶ予算もついています。高校生、私学の専門色の強い子は、そのまま社会に出る子がとても多いと思うので、こういうことを学ぶのは本当に最後のチャンスです。ですので、そういうところへアプローチしていただけたらと思いました。 ・保護者向けでも、教員向けでも、生徒向けでも、チラシは持って行きますので、出前講座に来ていただけたらと思います。 ・私も実際に(講座やイベントに) 登壇させていただくと、参加者の方の声は体感としてはとっても役に立っています。 ・男性の知り合いで弁護士へ相談したいという方がいたので「絶対(男性相談に) 電話してみて」とアナウンスをしたら、夫婦関係の悩みが、その後順調に。どういうお話になったかは分からないけど、すごく助かったという声も実際にありました。ただ、そのとき1回だったので、男性(相談員) がいなかった、自分が(電話を) かけられるタイミングでお話ができなかったということはあったので、(男性相談の) 回数が増えるのはとてもいいなと思いました。 ・やはり数字に目が行きがちなのですが、アンケートを取っていただけると課題やそこから見えて来るものがあります。住む地域が違うと課題や問題が本当に独特・固有なので、全国と照らし合わせながら、岡山の声というのを拾っていただけるのがとてもよいのではないかと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の話が出ましたが、男女共同をひとつのテーマとして、私が所属する団体を取り上げるのもよいと思いました。そうすると、団体の会員が、男女共同社会を実現するためにはこういうことが必要ですよというような、法律の側面から子どもたちに教える選択肢ができるので、今日のお話を聞いて持ち帰らせていただき、団体でそのメニューを作りたいと思います。 ・講義に行く会員は、好き放題しゃべるということではなく、ちゃんとプログラムがあって、こういう事をしゃべるといようなものを作っていくかたちになります。しかも、そういう訓練を受けた会員が行くので、とんでもない話を学校ですということはありませんので、ぜひそれを検討させていただきたいなと思いました。

議事	概要
<p data-bbox="197 235 392 264">ウィズセンター</p> <p data-bbox="264 383 325 412">委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 235 1428 315">・ありがとうございます。男女共同参画を推進する人が増えていくのはとてもありがたいことですので、ぜひ実現していただければと思います。 <li data-bbox="472 383 1428 1032">・今の出前講座のことで、私は大学で教えているのですが、実はこの6月から新しいカリキュラムができます。割と自由に、大学で学生たちが自主的に学んだり、お互いに協力して何かを成し遂げたりするというような体験をしてもらうカリキュラムで、まだ今年初めてやるくらい感じます。私はその担当になっていて、テーマを「男女共同参画について考える」にしています。学生さんたちに考えてもらう、子どもの頃からの教育って本当に大事だなと思っていて、大学生にはちょっと手遅れかどうか分からないのですが、まだ柔らかいかなと思うので、そこでいったんいろんなことを、考えたり感じたりしてもらえたらいいなという企画です。ただ私はそんなにお話をできるわけじゃない。出前講座で、講義のときに、もっと詳しくいろんな知識を持っている方が、現状がこんなでこういうことが問題になっているよという話をしていただけたら、よっぽど大学生の役に立つのかなと思います。2回くらい来ていただけると助かるのですけれど、あとでちょっとお話をさせてください。よろしくお願いします。
<p data-bbox="197 1102 392 1131">ウィズセンター</p> <p data-bbox="264 1205 325 1234">委員</p> <p data-bbox="264 1442 325 1471">委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 1102 1374 1131">・ありがとうございます。また具体的にお話をいただけたらと思います。 <li data-bbox="472 1205 1428 1375">・今日は何かいろいろ具体的に（話が）進みますね。皆さん、やる気ですね。よい会だと思いました。委員の皆さんもそのために来ていますから、どんどん活用していただけるといいかなと思います。ありがとうございます。 <li data-bbox="472 1442 1428 2092">・出前講座について、やはり男女共同参画というのは、直球を投げてこんな事やりますからと言っても人は集まりません。ですので、防災の中に男女共同参画を仕込んでやっているのは、非常にいい手法だと思っています。 ・2月16日に長船スポーツ公園で行われたイベントは、参加者が200名ですね。ここにも仕掛けがありまして、防災というのは、防災の話をやりますよと言っても来ません。そこで、「ついで防災」ということが生まれました。地域の夏祭りを利用したり、いろんな地域のイベントを利用したりして、そこに出かけて行って、ついでに防災の話をするというのが最近のやり方かなと思うので、これは非常に正解だったかなと思っています。ですので、今後も、こういった地域のイベントを利用しながら、そこに行かせていただいて、防災の話をし、その中に男女共同参画を突っ込んでいくというのが非常にいいかなと思います。この近辺でも、南方のサロンですとか、いろんなところがあると思うので、その辺りをリサーチしながらPRをしていけばいいかなというふうに思っています。

議事	概要
<p data-bbox="264 763 323 792">委員</p> <p data-bbox="169 1249 284 1279">3 閉会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="472 237 1430 696">・それから映画のつどいですが、これもウィズセンターがここに移転してきたときに、何とかお金をかけずに集客する方法はないかという苦肉の策のイベントだったと思います。非常にコンスタントに毎月1回頑張っていたいて、集客をしておられると思います。中でも昨年の実績を見ましたら、「PLAN75」ですね。51人という人が集まって、やっぱり興味のある作品を上映するところやって人が集まります。上映権のついたDVDで人気のありそうなものはお高いということもありますが、なるべく予算に合わせてそういったものを選んでいただき、みんなが、「ああ、それだったら見に行きたいな」とここに足を運んでくれるような作品を、今後とも上映していただけたらと思っております。よろしくお願ひします。 <li data-bbox="472 763 1150 792">・活発なご意見を本当に皆さまありがとうございます。 <li data-bbox="472 815 1430 938">・それではこれもちまして、本日の審議は終了させていただけたらと思います。本当に今日は、「できるよ」「できるよ」と、色々なつながりや可能性を見いだせた会になったと感じています。 <li data-bbox="472 960 1430 1128">・エリアを広げなくても、できるところから始めるという事がとても大切だと思いますので、ひとつずつ動かしていけたらより活動が活発になってくると思いますし、それを踏まえてまた私たちが議論をさせていただけるとありがたいなと思います。 <li data-bbox="472 1151 1390 1180">・以上をもちまして、令和7年度 第1回運営委員会を終了いたします。 <p data-bbox="1225 1301 1318 1330" style="text-align: right;">以 上</p>